

## 令和2年度事業報告

令和2年度の事業は、第17期奨学生に対し奨学金給付活動を行うとともに、電子通信工学の振興に資する活動では、新型コロナウイルス感染症の影響があり渡航助成事業0件、振興(イベント)助成事業1件及び調査・研究助成事業1件の助成となった。

### 1 奨学資金の給付事業(公1)

#### ① 第17期奨学生に対し、四半期ごとに給付(合計3,840万円)

奨学金支給	支給日	奨学生数(名)	備考
第1四半期	R2.3.31	64	
第2四半期	R2.7.1	64	
第3四半期	R2.10.1	64	
第4四半期	R2.12.29	64	

令和3年3月31日で、第17期奨学生に対する給付活動は終了した。

(参考資料)

進路	17期生(名)	備考
進級・進学	39	
就職等	25	三菱重工、NTT、小松製作所、パナソニック、シマノ、三菱電機、アイコム、ダイキン工業、村田製作所 他

#### ② 「モノづくり」現場の見学会(交流懇談会)を開催

新型コロナウイルス感染症の影響が懸念されたことから開催を中止した。

この現場体験や奨学生相互の交流はなかったが、各奨学生の研究活動や学会発表等の内容、日ごろの学習や取り組みをしている内容を報告いただき「研究内容等報告文集」として取りまとめ、交流の一環として奨学生の方等に配布した。

#### ③ 本財団の奨学生を終了された方々等との「きずな」づくり

第1期生から第17期生に暑中見舞い及び年賀葉書を送付した。

### 2 渡航助成事業(公2)

海外渡航が禁止、制限されていたことから、令和2年度は申請がなかった。

### 3 振興助成事業(公3)

助成申請のあった大阪市立大学の電子通信作品デザインコンテストに対して339,800円の支援助成を行った。

#### 4 調査・研究助成事業（公4）

令和2年度調査・研究助成金交付対象者選考委員会で選考した1件に28万円の助成を行った。

（参考資料）

大学	研究テーマ	助成額
京都工芸繊維大学	次世代光通信用半導体レーザの実現に向けた希釈ビスマス系半導体に関する研究	28万円

#### 5 その他

##### ① 広報活動

財団の組織、財政、奨学生の募集、調査・研究助成対象者の募集、活動報告等についてホームページを利用して広報を行った。

##### ② 奨学生並びに調査・研究助成金交付対象者等の募集

大学及び工業高等専門学校(計26校)へ周知・広報のために募集要項を郵送するとともに、電話により奨学生、調査・研究助成金交付対象者の募集等に関する周知を行った。

##### ③ 研修会の開催

新型コロナウイルス感染症の影響が懸念されたことから、中止した。

#### 附属明細書

令和2年度事業報告には、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第34条第3項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」に該当する事項なし。